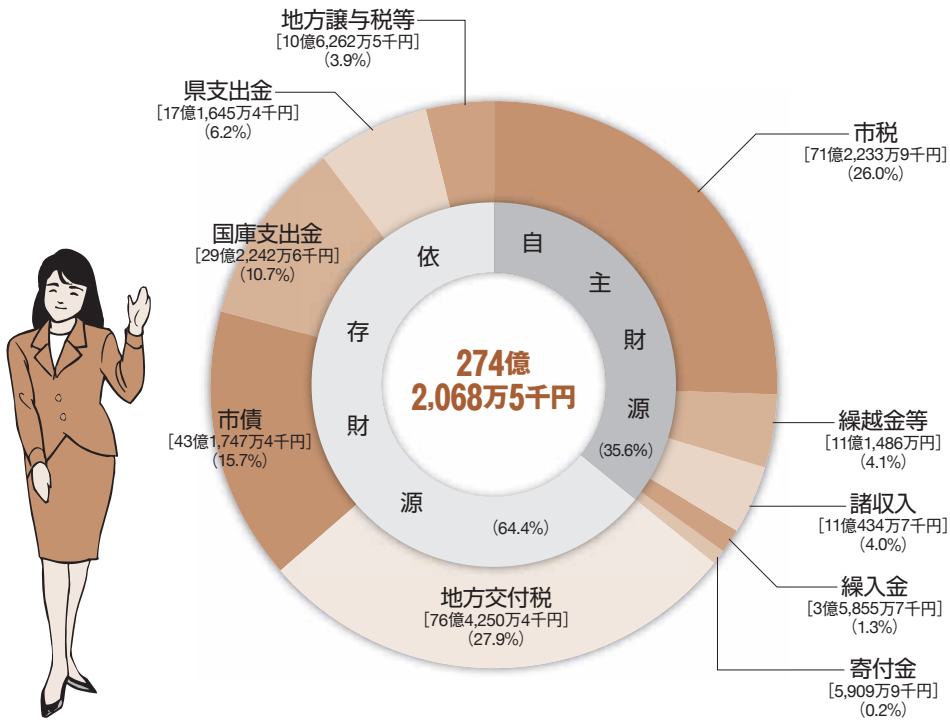
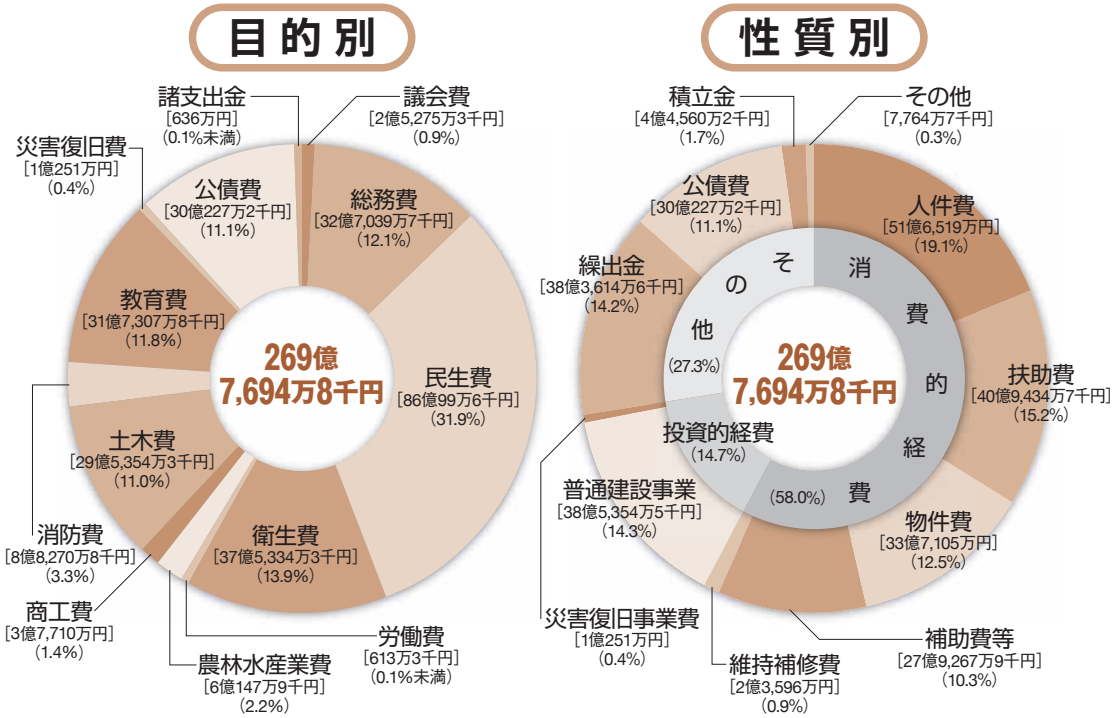


平成22年度 決算報告

一般会計・歳入



一般会計・歳出



決算の概要

市の会計は、総務費・民生費・教育費など行政サービスを行う上で基本となる一般会計と、国民健康保険など14の特別会計、水道事業会計と病院事業会計の2つの企業会計合計17会計から成り立っています。企業会計を除く一般会計と特別会計を合わせた会計総額は、歳入445億2,329万9千円、歳出433億8,725万7千円となりました。

平成22年度一般会計で、歳入総額から歳出総額を差し引いた額のうち、次年度に繰り越された事業に必要な財源9,910万6千円を差し引いた実質収支額は3億4,463万1千円の黒字決算となりました。しかし、市税が約1億6千万円減少し、地方交付税や国庫支出金など依存財源に頼った決算状況となっています。

また、会計別歳入歳出決算総括表および市の起債(借金)と基金(預金)の残高の状況は次のとおりです。なお、水道事業会計と病院事業会計は、5ページに掲載しています。

会計別歳入歳出決算総括表

(単位:千円)

		歳入	歳出	差引
一般会計		27,420,685	26,976,948	443,737
特別会計	国民健康保険	7,081,172	6,820,708	260,464
	簡易水道事業	177,652	177,637	15
	国民宿舎	29,258	29,199	59
	住宅新築資金等貸付事業	111,198	94,214	16,984
	老人保健	1,718	1,718	0
	公共下水道事業	1,855,010	1,836,555	18,455
	駐車場事業	3,806	2,971	835
	墓園事業	23,258	17,738	5,520
	農集集落排水事業	112,505	107,142	5,363
	土地区画整理事業	1,146,001	925,279	220,722
	介護保険	5,210,207	5,108,507	101,700
	介護サービス事業	33,028	33,028	0
	指定訪問介護事業	74,127	62,505	11,622
	後期高齢者医療	1,243,674	1,193,108	50,566
合計		44,523,299	43,387,257	1,136,042

基金と起債の状況

(単位:千円)

		H20年度末	H21年度末	H22年度末
基金	財政調整基金	943,153	1,035,207	1,258,255
	その他の基金	3,891,728	3,889,632	4,050,035
	合計	4,834,881	4,924,839	5,308,290
起債	普通会計	28,855,704	29,312,439	31,086,504
	その他の会計	30,671,537	29,068,973	28,076,339
	合計	59,527,241	58,381,412	59,162,843

用語解説

歳入

- 自主財源：地方公共団体が自主的に調達できる財源。この比率が高いほど、行政の自主性や安定性が確保される
- 市税：市民の皆さんから納めていた税金や会社からの法人市民税など
- 繰入金：各基金から取り崩して一般会計に繰り入れるお金など
- 寄付金：大規模開発などの開発協力金など
- 依存財源：国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられる財源
- 地方交付税：各市町村が標準的な行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国が交付する税
- 国庫・県支出金：市が行う特定事業に対して国・県から交付される給付金
- 市債：財政収入の不足を補う借入金
- 地方譲与税等：本来地方税として徴収すべき税を徴収の困難性・税源の偏在などの理由から、いったん国が国税として徴収し、一定の基準に従い地方公共団体に譲与される税など

性質別歳出

- 人件費：議員報酬、特別職給与、職員給与など、勤務の対価として支払われる経費
- 補助費等：各種団体などに対する補助金・負担金、水道事業・病院事業に対する繰出金など
- 物件費：旅費や消耗品費など、他の性質に属さない消費的な経費
- 扶助費：社会保障制度の一環として、児童、老人、生活困窮者を援助するための経費

- 維持補修費：市が管理する施設を維持・保全するために行う施設の補修にかかる経費
- 普通建設事業費：道路や施設の建設、大規模改修などに伴う経費
- 災害復旧事業費：集中豪雨や台風などによる被害箇所を現状復帰させる費用
- 繰出金：特別会計(国民健康保険、公共下水道事業など)や基金に支出したお金
- 公債費：市が借りたお金の返済金
- 積立金：基金として積み立てたお金

目的別歳出

- 議会費：議会の運営にかかるお金
- 総務費：各種計画の策定や推進、内部管理などの経費
- 民生費：障がい者やお年寄りに対する福祉、子育て支援などの事業費
- 衛生費：健康で衛生的な生活環境を守るため、保健・医療・環境などに必要なお金
- 労働費：資金融資などの労働対策に要する経費
- 農林水産業費：農林業の振興を図るための支援や生産基盤整備などの事業費
- 商工費：商工業の振興を図るための支援や中小企業、観光振興のための経費
- 土木費：道路・河川などを整備するお金
- 消防費：市民生活の安全を守る消防活動費
- 教育費：学校教育・生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツ振興の費用
- 災害復旧費：被災した施設などの復旧に要した費用
- 公債費：市債の元利支払いに必要なお金

普通会計

- 一般会計：住宅新築資金等貸付事業特別会計・墓園事業特別会計・土地区画整理事業特別会計の4会計と簡易水道事業特別会計の一部をあわせたもの

市の財政状況を一般家庭の家計にたとえてみると：

ここでは、市の普通会計の決算をある一般家庭の家計（わが家の家計）に置き換えてみるとどうなるのかについて説明します。

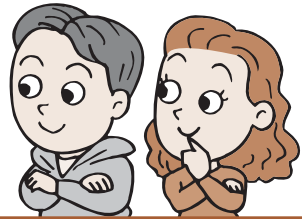
わが家の家計における金額は、市の決算額を年度末の市の住民基本台帳登録者数（22年度末 67,529人）で割ったもので、「今月」とは22年度を表現しています。

わが家の家計				となりの家計	市の決算
収入		費目名	今月(H22)	先月(H21)	類似団体(H21)
給料	基本給		130,544	132,197	155,022
	諸手当		204,675	202,607	206,522
	小計		335,219	334,804	361,544
前月からの繰り越し			6,347	5,449	10,963
預金の取り崩し			5,857	4,620	7,426
借金			65,668	42,787	37,824
合計			413,091	387,660	417,757

わが家の家計				となりの家計	市の決算
支出		費目名	今月(H22)	先月(H21)	類似団体(H21)
義務的な経費	食費		78,053	80,059	74,514
	教育費・医療費		60,668	47,697	55,538
	ローン返済		46,660	43,765	51,613
	小計		185,381	171,521	181,665
サークル等各種会費			41,449	62,886	54,100
光熱水費			50,135	48,294	47,005
子どもへの仕送り			46,763	46,411	40,498
耐久消費財の購入			71,811	42,313	59,003
家の修繕費			3,522	3,418	4,178
株式投資			1,150	1,951	9,371
預金			2,161	3,749	8,485
その他雑費			0	0	310
合計			402,372	380,543	404,615

残高

わが家の家計				となりの家計
費目名		今月(H22)	先月(H21)	類似団体(H21)
借金残高		460,343	431,160	429,873
預金残高		78,608	72,440	81,753



家計の特徴

＜収入＞

基本給は減りましたが、諸手当が増えたため今月の給料は増加しました。しかし、この諸手当は一時的なものであり、今後は減額となる見込みです。また、教育費・医療費や耐久消費財の購入が増えたため、借金や預金の取り崩しが増えました。

＜支出＞

教育費と医療費が毎月増えています。これらは今後も増加傾向にあり、家計にとって大きな負担となっています。また、災害などに備えるための耐震改修工事や橋本北消防署建設などで、今月は耐久消費財の購入が増加しました。

市の財政健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	赤字なし	赤字なし	12.7%	150.8%
（早期健全化基準）	（12.74%）	（17.74%）	（25.0%）	（350.0%）
（財政再生基準）	（20.00%）	（35.00%）	（35.0%）	

- 実質赤字比率**：普通会計（一般会計など）の実質赤字の比率。
 - 連結実質赤字比率**：すべての会計の収支を合算し、市全体としての実質赤字の比率。
 - 実質公債費比率**：借入金の返済額などを比率化したもので、主に資金繰りの危険度を表す比率。
 - 将来負担比率**：市全体の借入金や将来支払っていく可能性がある負担などの残高を表す比率。
- ※また、資金不足比率（各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示すもの）について、各会計とも資金不足はありませんでした。

平成22年度水道事業会計決算

平成22年度の営業収益である料金収入は、給水人口が前年度より399人の減少となったにもかかわらず、夏の猛暑の影響で前年度とほぼ同程度を維持することができました。また、給水分担金収入などの増加により、総収益は前年度より1,800万円の増加となりました。

費用面では、借入金の一部を繰上償還したことによる支払い利息の減少などで、総費用は前年度より900万円の減少となり、収支差し引きの利益が前年度よりも2,700万円増加の1億1,000万円となったことよって、水道事業会計の累積欠損金は5億9,000万円に減少しました。

施設の整備状況については、建設改良事業で石綿管の布設替え工事や、拡張事業で高野口浄水場紫外線処理設備設置工事などを実施し、建設改良費と拡張費を合わせて4億6,166万円を支出しました。

【水道業務課】

平成22年度 水道事業会計決算

収益的収支(税抜き)			資本的収支(税抜き)		
収益	営業収益	13億8,563万1千円	収入	国庫支出金	7,953万3千円
	営業外収益	3,226万6千円		負担金	973万0千円
	特別利益	1万8千円		繰入金	1億222万3千円
	計	14億1,791万5千円		補償金	3,667万2千円
費用	営業費用	12億1,497万4千円	支出	計	2億2,815万8千円
	営業外費用	9,090万9千円		建設改良費	1億6,756万5千円
	特別損失	169万9千円		拡張費	2億9,409万5千円
	計	13億758万2千円		企業債償還金	1億7,214万6千円
差し引き		1億1,033万3千円	差し引き		△4億564万8千円

- ・給水人口 65,863人（計画給水人口の98.16%）
- ・給水戸数 25,573戸
- ・総配水量 8,421,143㎡
- ・総有収水量 7,240,265㎡（有収率 85.98%）
- ・施設利用率 39.17%

平成22年度病院事業会計決算

平成22年度は、2年に一度の診療報酬の改定がありました。今回の改定は、病院勤務医の負担軽減と救急産科、小児科、外科などの医療の再建を目的とした内容となっており、プラス幅は0.19%と小幅ながら10年ぶりのプラス改定となりました。こうした状況下において、前年度と同様にダウンサイジングを継続し、5病棟250床での運営としました。このため、1日平均入院患者数は226.1名と前年度より8.5名の減となりましたが、患者1人1日当たりの入院単価は44,120円と1,911円増加し、入院収益では前年度より約2,617万円の増収となりました。

病院事業収益では、前年度は公立病院改革ガイドラインの数値目標達成が困難となったため、市より1億5,000万円の追加繰入金があり、病院事業収益全体で、前年度比約1億1,846万円の減額となりました。

費用では、5階東病棟を休床としたことなどにより委託料で約4,000万円、医療機器の償還が前年度で終了し、減価償却費で約1億6,869万円の削減となるなど、病院事業費用全体で、前年度比約2億5,662万円の削減となりました。結果、本年度決算は純損失が約

平成22年度 病院事業会計決算

収益的収支(税抜き)			資本的収支(税抜き)		
収益	医業収益	55億689万3千円	収入	出資金	0千円
	医業外収益	4億5,991万5千円		他会計補助金	2億187万0千円
	特別利益	1億4,219万5千円		企業債	3,520万0千円
	計	61億900万3千円		投資補助金	13万3千円
費用	医業費用	58億9,132万3千円	支出	計	2億3,720万3千円
	医業外費用	3億5,375万8千円		建設改良費	4,093万7千円
	特別損失	3,178万8千円		投資	77万4千円
	計	62億7,686万9千円		企業債償還金	4億4,599万9千円
差し引き		△1億6,786万6千円	差し引き		△2億5,050万7千円

1億6,786万円となり、前年度比で約1億3,816万円の改善となりました。また、公立病院改革プランの2年目（3年計画）で、当院の最大の数値目標であった不良債務の解消を図ることができました。

【市民病院総務課】

平成22年度一般会計の主な事業

総務費

橋本駅等バリアフリー化事業
3億4,111万7千円
橋本駅・林間田園都市駅のバリアフリー化と耐震補強の事業に対して、鉄道事業者に補助金を支出しました。

民生費

すみだこども園建設事業
2億2,913万9千円
平成24年4月開園予定のすみだこども園建設経費として土地購入費などを支出しました。



▲エレベーターの設置などバリアフリー整備が行われた橋本駅

農林水産業費

農業振興対策推進事業
94万1千円
消費者と柿産地との交流や柿の販売促進キャンペーンなどの経費を支出しました。

土木費

清水西畑幹線整備事業
2億8,421万5千円
紀の川左岸農道に通じる市道の整備工事費などを支出しました。



▶整備が進む清水西畑幹線

商工費

(仮称)やどり観光交流センター新築事業
6,826万1千円
平成24年3月にオープン予定の「やどり温泉いやしの湯」の工事費を支出しました。

消防費

赤塚防災センター改修事業
1,397万1千円
屋根の防水補修などの改修経費を支出しました。

慶賀野垂井線舗装修繕事業
4,427万4千円
劣化の激しい城山台地区の4車線道路の舗装修繕費を支出しました。

境原学童保育所設置事業

276万9千円
境原小学校の空き教室を利用し、境原地区学童保育所を新設しました。



▶境原地区学童保育所の子どもたち

三石保育園新築移転事業

1億9,027万9千円
平成25年4月開園予定の三石保育園の土地購入費を支出しました。

衛生費

保健福祉センター建設事業
2億646万8千円
保健福祉センターを建設するための設計費や、旧市民病院の解体費などを支出しました。

橋本北消防署新築事業

8,942万3千円
市北東部地域の消防初動体制の強化を図るため、北消防署の設計や建設費、またポンプ自動車および査察広報車を購入しました。

教育費

教育文化会館耐震改修事業
1億9,823万3千円
教育文化会館の耐震改修工事費などの経費を支出しました。

高野口小学校校舎改修事業

4億6,225万1千円
老朽化した高野口小学校の改築工事費などの経費を支出しました。



▲耐震補強が施された高野口小学校

橋本・高野口クリーンセンター解体撤去事業

3億2,973万円
両クリーンセンターの解体工事費などを支出しました。跡地には、公園などを整備する予定です。

地域活性化交流施設整備事業

2億6,902万4千円
広域ごみ処理施設建設に伴う周辺整備事業として、エコパーク紀望の里などの建設経費を支出しました。

各種健診事業

2億7,383万6千円
インフルエンザ対策の予防接種、妊婦健診、乳幼児健診、ガン検診など、各種健診事業を実施しました。



▶4〜5か月検診での栄養指導の様子

市内小中学校耐震補強事業

1億6,094万7千円
隅田・西部・応其小学校および隅田・西部・学文路・高野口中学校の耐震補強工事費などの経費を支出しました。

災害復旧費

災害復旧事業費
1億251万円
平成22年7月の豪雨などにより被害のあった市内各所の復旧経費を支出しました。